

船舶事故等調査報告書

平成22年1月28日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2009広第240号	
事故等種類	衝突	
発生日時	平成21年5月30日（土） 07時40分ごろ	
発生場所	島根県西ノ島町 麦山鼻灯台から真方位304° 2,000m付近 （概位 北緯36° 04.4′ 東経133° 00.3′）	
事故等調査の経過	平成21年9月4日、本事故の調査を担当する主管調査官（広島事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等	A モーターボート ごっどういっと、1.2トン 272-19366島根、個人所有 B 漁船 ^{おおにし} 大西丸、0.6トン SN3-15890（漁船登録番号）、個人所有	
乗組員等に関する情報	A 船長、一級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定 B 船長、一級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定	
死傷者等	なし	
損傷	A 左舷中央部にき裂 B 船首及び右舷船首に擦過傷	
事故等の経過	A船は、船長Aが1人で乗り組み、西ノ島の弁天鼻西方沖において釣りをしながら錨泊中、B船は、船長Bが1人で乗り組み、弁天鼻西方沖を約8ノットの速力で南東進中、平成21年5月30日07時40分ごろ、A船の左舷中央部とB船の船首部とが衝突した。	
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 北東、風速 約1.4m/s、視界 良好 海象：海上 平穏	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	あり なし なし A船は、西ノ島の弁天鼻西方沖において錨泊中、船長Aが衝突の約1分前に、接近してくるB船を認め、手を振りながら大声を出して注意喚起を行ったものと考えられる。 B船は、南東進中、船長Bが前路で錨泊中のA船に気付かなかったものと考えられる。
原因	本事故は、西ノ島の弁天鼻西方沖において、A船が錨泊中、B船が南東進中、船長BがA船に気付かずに航行したため、両船が衝突したことにより発生したものと考えられる。	